

Portfolio

プロダクトデザイン学科
雑貨デザイン専攻
山田瑞稀

目次

Avalon 

鹿さん親子のカトラリーケース 

玉手池 

福こいこい 福招きウサギ 

Cherished Memories 

唐草のバンブル 

白花・黒檀のループタイ 

Protectbook 

その他 

Profile

山田 瑞稀

2004/09/12
千葉県佐倉市生まれ

出身校

私立東京学館船橋高等学校
美術・工芸科

特技

卵焼きをきれいに焼くこと
質感が良くなるまで研磨すること

資格検定

レタリング技能検定 3級

動物とお茶が好き



スキル



頑張ります ...



まあまあです



できます!



趣味



読書

本をからでしか得られない知識や小説の中の風景や登場人物の心情に共感し読み解くのが楽しいです。

お菓子作り

人のために何かしたり喜んでもらえるのが好きなので家族や友人にお菓子をふるまったりします。



ゲーム

キャラクターや風景をみるのが好きです。最近では時間に余裕がある時に友人や家族と一緒にゲームするのが楽しみです。

作風

幼いころから好奇心旺盛で動物や植物・鉱石に興味を惹かれ、よく家族で博物館や美術館、動物園・水族館に連れて行ってもらいました。

今でも自分で興味がある展示などがある場合は赴いたりします。その影響で作風は植物や動物モチーフを中心に制作しています。



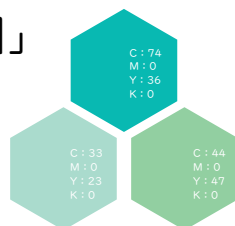
制作期間：8ヶ月

素材：石粉粘土 マホガニー
塩ビ板

サイズ：W230×D200×H200

イメージカラー

「新緑」・「楽園」



「楽園」 イメージしたオルゴール箱です

テーマ

「動物たちの楽園」

箱という限られた空間に「動物だけ」の楽園を創ろうと考案し、複数の動物たちの生活の様子と果実が豊富に実る木々、ゆるやかに流れる川を箱庭のように表現しました。

詳細

このオルゴール箱は高校の卒業制作として制作したものです。

この箱は全体的に彫刻を施しており、遺跡に絡まっている植物を表現しています。

後ろの彫刻は「動物だけの樂園」の起源を表し、世界観が伝わる壁画のような物をデザインしました。

箱自体もこの物語の一部という雰囲気を感じ取れればと考えています。

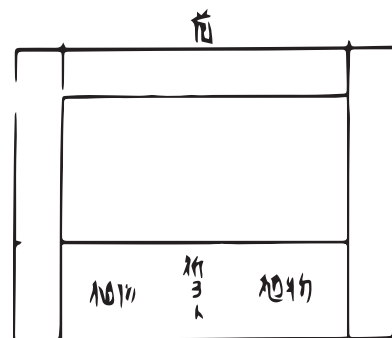
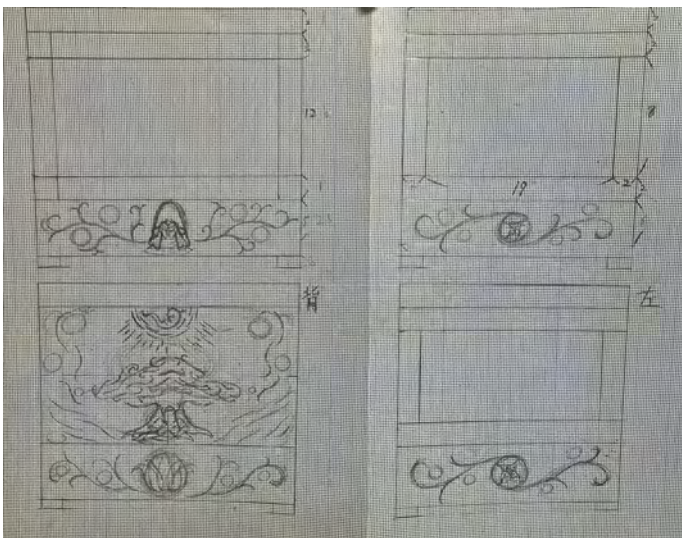


制作過程

1. パーツの寸法を木材に書き込む
2. 木材を切断する
3. それぞれのパーツに溝を作る
4. 彫刻を施す
5. 塩ビ板を切断する
6. 上の箱の中に動物などを石粉粘土で制作する
7. 下の箱にオルゴールを設置する穴を開ける
8. 上下合わせて完成



スケッチ



鹿さん親子 のカトラリーケース

食器具



制作期間：4週間

素材：クレイ

サイズ：W60×D210×H140

イメージカラー

「紅葉」



重ねることで見方が変化する
インテリアです

コンセプト

「鹿さん親子と
のんびりとした時間を」

鹿の親子のような穏やかな時間を
過ごしてほしいと考え鹿を全体的に
デフォルメ化し印象が柔らかくなる
ようにデザインしました。

尚且つ鹿の親子のバランスを調整。
雰囲気に合わせて丸くする際には道具
を使用し、丸みを帯びた穏やかな
雰囲気を出しました。

作品詳細



自分が企業に入った場合を想定したグッズをデザインしたカトラリーケースです。

今回のクレイにてモデリングを想定とし制作を行いました。

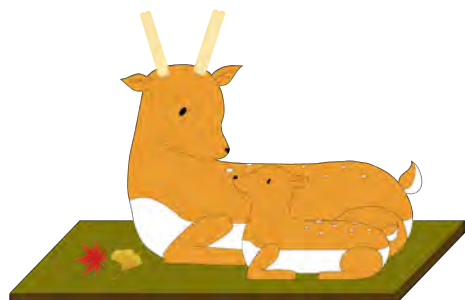
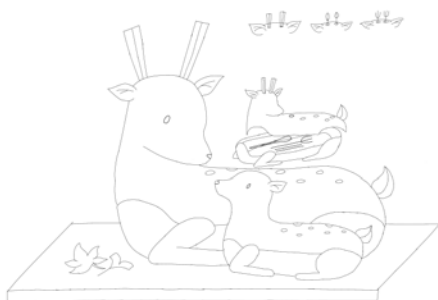
製品としては親鹿をフォークやスプーン、箸を小鹿は爪楊枝などをいれることを想定し大きさを調整しました。

制作過程

1. 実際の大きさを厚紙にスケッチする
2. スケッチした厚紙を切り取る
3. 型紙に合わせながら粘土を成型する
4. 体の表面を削る
5. 位置を確認しながら足をつける
6. 完成



スケッチ



玉手池

インテリア



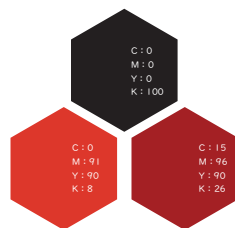
制作期間：一ヶ月

素材：エポキシ樹脂 桂
アクリル絵具

サイズ：W160×D160×H3

イメージカラー

「鯉」・「和」



重ねることで見方が変化する
インテリアです

テーマ

「重ねる」

コンセプト

「手元に身近な自然を」

池などの全体的に負担が大きく手軽に入
手しづらいと考え、手軽に楽しめる大き
にしました。

工夫したところは池の遠近感が出るよ
うに鯉を別々の層に一匹ずつ書き入れ
枠組みを重ね、奥行きを感じられるよ
うにしました。

キャプション

全体のテーマとして「和」なので、紅葉や十五夜をイメージした満月などを取り入れました。背景の色味に関しては鯉がいる池の底は底知れない何かという雰囲気を感じるのどこか神秘的で尚且つ少しばかりのほの暗さを感じる色合いにしました。

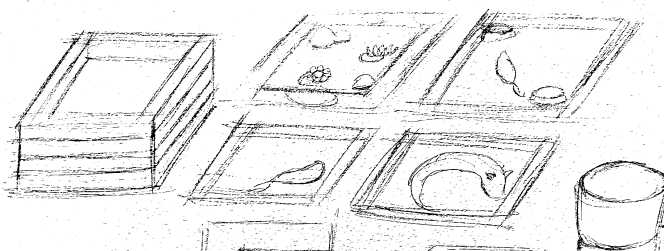


制作過程

1. 木の棒を切断
2. 切断した素材を木枠に加工
3. 透明な板を木枠に合わせて切断
4. 木枠の下に透明な板を敷いて周りを囲い固定
5. 木枠にエポキシ樹脂を流し込み硬化（一晚）
6. 硬化し研磨を行う
7. 下絵を敷きアクリル絵の具で鯉を描く
8. 重ねて完成



スケッチ



スケッチの時点では枠組みのみのデザインで進めていましたが、鯉二匹だけだと見て楽しむインテリアとしてはもう少し付け加えたほうがいいのではと考え、鯉と相性がよく開催時期が秋なので紅葉を追加しました。

福こいこい 福招きウサギ

メッセージカードスタンド



制作期間：1ヶ月

素材：真鍮 UV レジン
レジンキャスト

サイズ：大 W60×D70×H100
小 W50×D58×H50

カラーバリエーション



ロップイヤーをモデルとし制作した
メッセージカードスタンド

テーマ

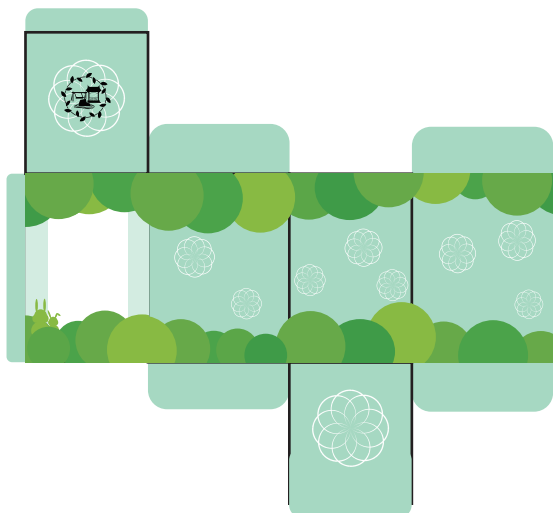
「招く」

コンセプト

「運を招く動物」

「招く」から招き猫を想像した際、動物それぞれに割り当てられた運や福があるので「招き動物」を制作することを考え、そこから学業向上、運氣上昇などがあげられるウサギをモデルとし制作しました。

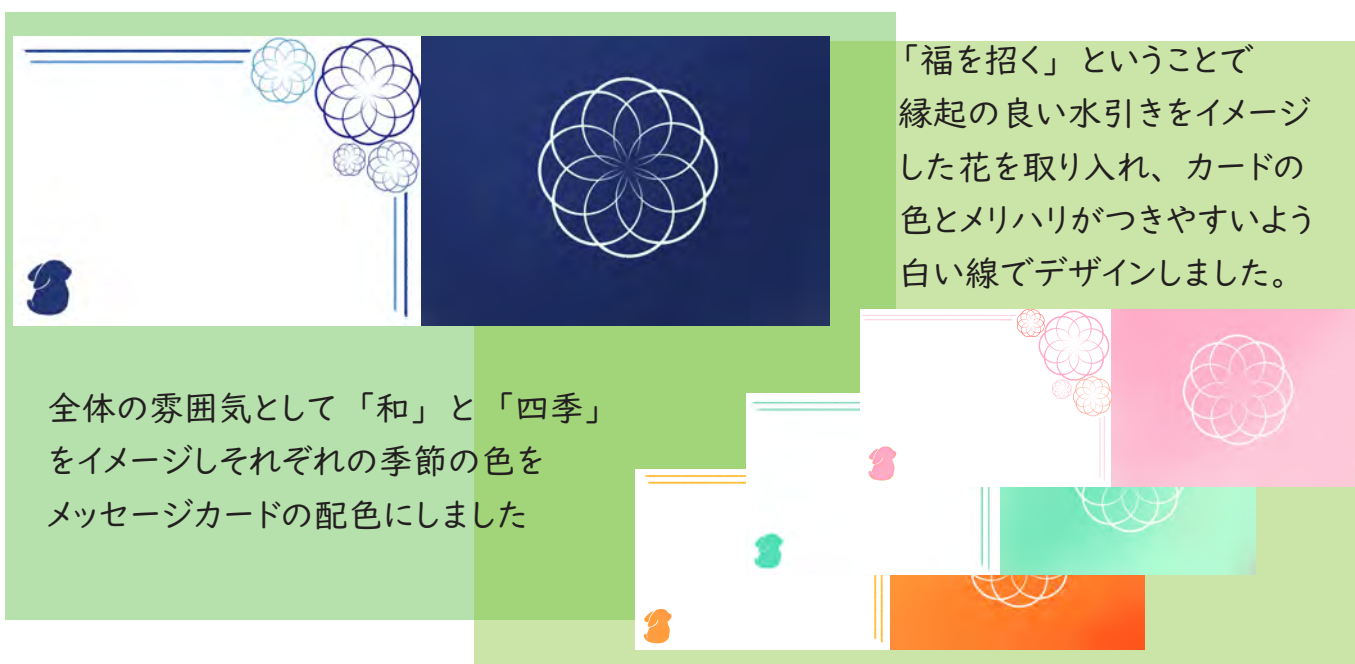
パッケージ



パッケージデザインはチームテーマが「庭」なので全体の色を緑で統一し森の中を連想させるように仕上げ、ウサギが草むらから除いているようになっています。



メッセージカード



スケッチ



最初は様々な動物を考案し、スケッチの三種類の動物まで絞りウサギに焦点をあて最終案として決定しました。

Cherished Memories

アクセサリーボックス



制作期間：3ヶ月

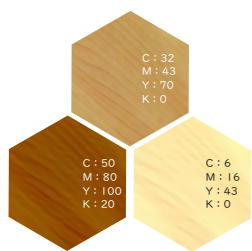
素材：桂

バリエーション

桂

ポプラ

ウォールナット



桂を使用したアクセサリーボックス
植物をメインに彫刻を施し制作

コンセプト

「植物の彩り」

今回制作したアクセサリーボックスは母の雰囲気イメージし、唐草模様を主としたデザインにまとめ上げました。

コンセプトである「植物の彩り」は箱を渡す相手である母が植物好きなので植物をメインにと思いこのコンセプト設定としました。

サイズは母からの要望で小さめなサイズにし、中もそこまで収納数を求めていなかったのもシンプルに仕上げ青で統一しました。

森の木彫り屋さん

月見ヶ丘

森の木彫り屋さん
 営業時間 11時～18時
 定休日 水・金・祝
 月見ヶ丘駅から徒歩10分 駐車場無し
 お問い合わせ
 〒289-0333 熊森月見ヶ丘御手洗区 1472-18
 TEL: 045-499-1746
 E-Mail: morinokibori@gmail.com

こだわりの浮彫り アクセサリーボックス

～木との生活～

装飾品を収納するアクセサリーボックスを木材から箱全体に施された美しい植物の彫刻まですべて手作りで制作した製品です。
 木の特性である経年による色の深みと雰囲気の変化を見て楽しむことができ、手触りがよくなるよう一つ一つ研磨を行い、蜜蝋で仕上げています。
 収納数は限られていますが、大切な装飾品を数点入れておく特別感を感じていただければと思います。

箱の側面すべてに手作業で彫刻を施しているため、すべての製品の模様は均一ではありませんが、彫りの深さや植物の丸みの違いを見て気に入った一品を探してみるのも感じていただける楽しさの一つです。

本製品は収納数は限られた四つのベースで構成されており、中の仕切りは取り外し可能になっています。
 内部の素材は大切なアクセサリーを傷つけてしまわないよう柔らかいフェルト生地を使用しています。

使用木材一覧

素材は調湿や調湿などに使用される種を主に使用・制作しています。種は木材の中でも比較的柔らかいので加工がしやすく、製品を彫る彫刻と相性がよいです。種の木は、夏から秋にかけて黄葉し、その黄葉した葉からは、甘い香りがたよよせします。葉が落葉し、その葉を乾燥させて、粉末状にし、お香として使用されていることから「香の木（このき）」とも呼ばれています。

濃い目の色味が特長であるこちらの木材は主に家具や建具など幅広く使われるウォールナットです。材質は硬めなので加工は少し難しいですが、彫刻に強く耐久性に優れるため歪みから活留されてきた木材でもあります。木目や色味は美しく、長く使用できることからウォールナット特有の深みのある色合いの変化が楽しめます。

少し黄色みを感じる淡い色味が特長であるこちらの木材は室内で使用される次ぎ目のテーブルや家具などを主に制作する際に使用するポプラです。材質は軽より少し硬めですが柔らかいので比較的加工がしやすく、今回の意匠に使われている模様を彫刻するのに適しています。滑らかな質感も特長の一つでもあり彫り心地が楽しめる一品となっています。

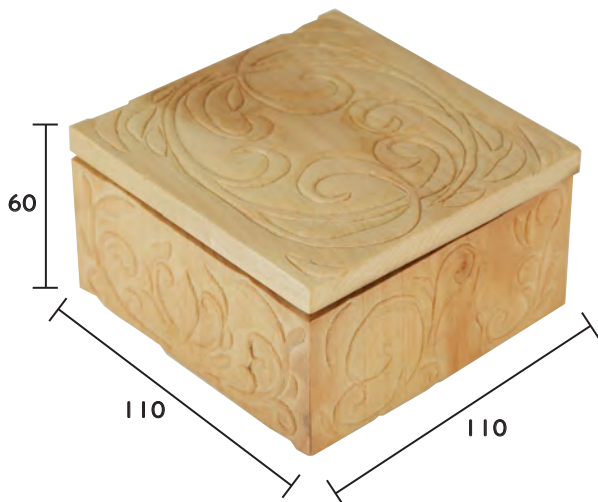
商品詳細

商品名	アクセサリーボックス
素材	ウォールナット、ポプラ
寸法	W110×D60×H110
価格	2500円（税込）2750円
加工	蜜蝋塗装

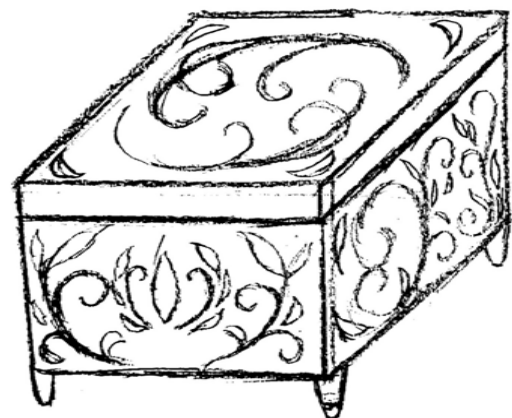
マーケティング概論で制作した販促品と想定したパンフレットです。
 コンセプトの「植物の彩り」をイメージしメインカラーとして緑と白で統一し、ボタニカルな雰囲気になるようパンフレットの用紙に柄を入れる事を想定としたデザインに仕上げました。

記載内容としては商品のメイン写真、商品説明、カラーバリエーションを想定とした使用した木材の特徴やちょっとした豆知識類や商品詳細を記載しまとめました。
 ロゴマークは柔らかな雰囲気になるように白を基調としました。

サイズ



スケッチ



唐草のバングル

アクセサリー



制作期間：1ヶ月

素材：真鍮

サイズ：W30×D167×H30

イメージカラー

「金」



唐草を表現したバングルを制作

テーマ

「彩る唐草」

コンセプト

「アクセサリーになる植物」

真鍮を用いたバングルです。
全体的にシンプルにまとめ、唐草特有の美しい模様をバングルとして表現したら面白いのではと思い制作しました。
工夫したところは唐草の先端の丸みを自然な形になるようペンチで丁寧に曲げたところです。

詳細



植物の中で唐草模様（アールヌーヴォー）を使用したデザインに仕上げたのは身に着けられたら面白いのではというのがありますが、画家のミュシャの作品に多く描かれている植物の模様を見たときその形の美しさ、ミュシャの作品の美しさに魅了され何かしらの作品として再現したいと思った事が制作するきっかけになりました。

今回制作したバングルは全体的に柔らかく、曲げやすいので着用する際は自身の腕に合わせて調節することが可能です。

制作過程

1. 真鍮の棒を少しつぶす
2. 鞣す
3. ペンチで先端を丸め、切断する
4. パーツの配置を決める
5. 銀ロウを溶かして溶接
6. 腕に合わせてバングルを曲げる
7. 完成



スケッチ



最初はヤドリギの木の実と唐草模様を組み合わせる予定でしたが、唐草模様単体だとシンプルですが模様の美しさが際立ったのでデザインを変更しました。

白花・黒檀のループタイ

アクセサリー



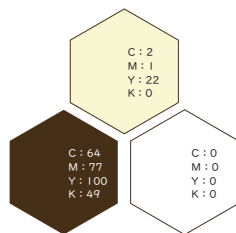
制作期間：1週間

素材：黒檀 UV レジン
アクリル絵具

サイズ：W30×D20×H500

イメージカラー

「黒檀」・「花」



植物モチーフのループタイを
制作

テーマ

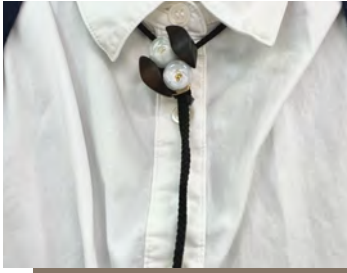
「新社会人に送るプロダクト」

コンセプト

「植物を用いたアクセサリー」

「新社会人に送るプロダクト」として、冠婚葬祭（主に婚儀・披露宴など）、普段使いにも使用できるループタイを考案しました。コンセプトの通り植物をモチーフにデザインしました。

詳細



ループタイの素材が主に黒檀と UV レジンで制作した白い花ですが、色合い・雰囲気ของどちらとも正反対なパーツを使用しています。

正反対なものを用いたのはこの 2 つに共通点を見出したからです。

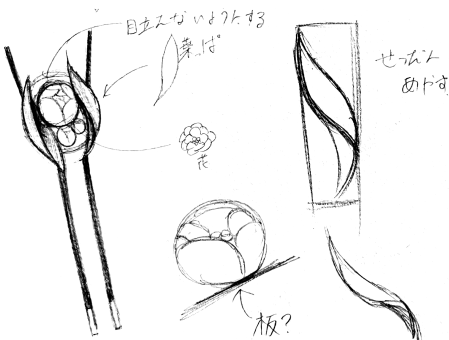
共通点としてはどちらも色合いはなじみやすく、雰囲気はシックで落ち着いたイメージなので、今回の使用目的としている冠婚葬祭に合わせやすいと考え、素材として使用しました。

制作過程

1. 黒檀に下書きを入れ、切断
2. 木片を研磨
3. UV レジンで花を制作
4. パーツの組み合わせを確認
5. 接着
6. 完成



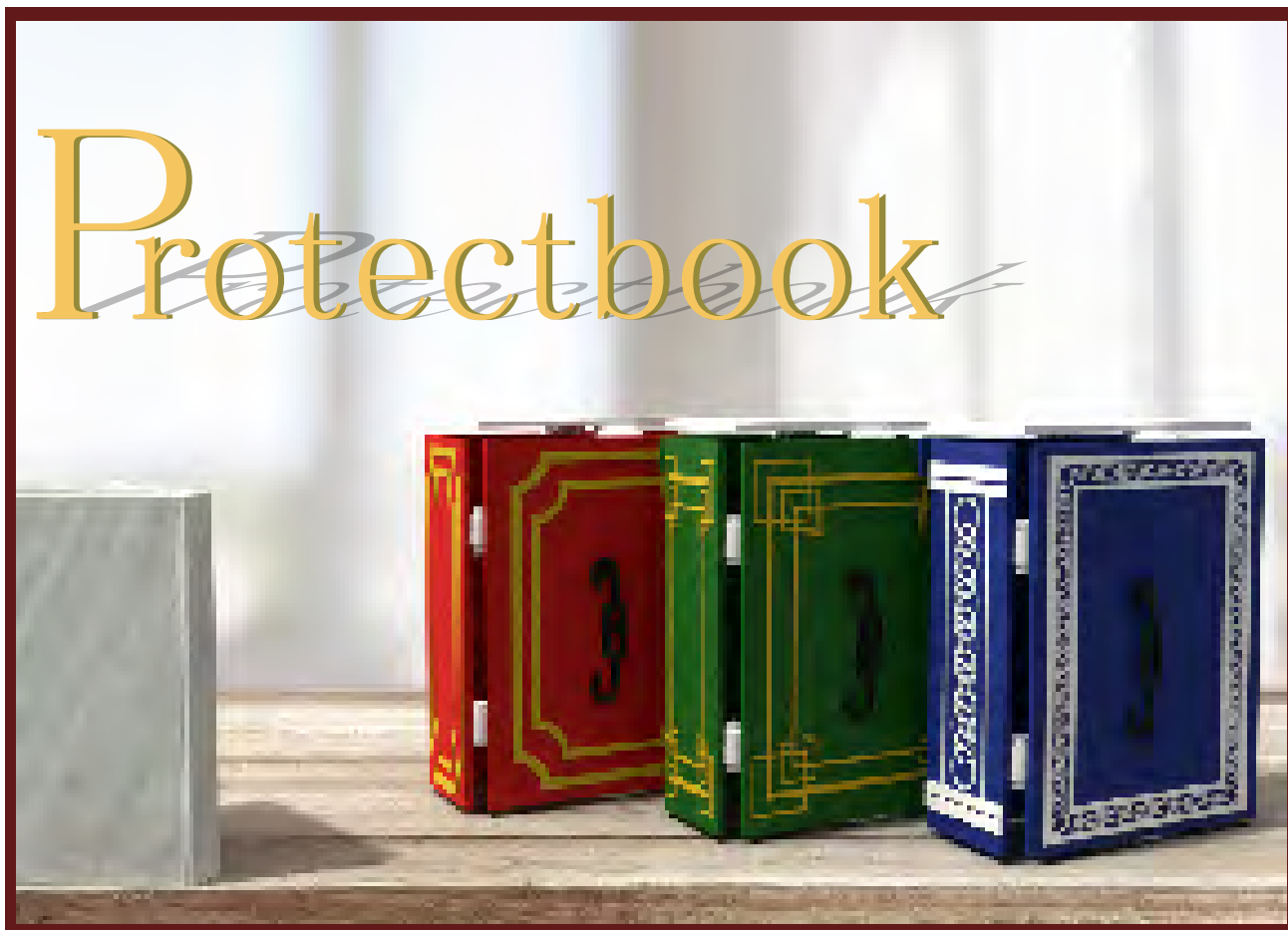
スケッチ



テーマは植物に決めていましたが、穏やかなイメージがある植物とシックな雰囲気が多いループタイをどのように組み合わせ、まとめるかを主に考案しました。

Protectbook

雑貨製品



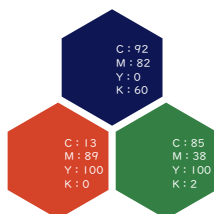
制作期間：4週間

素材：アクリル樹脂

サイズ：開 180×125×80

閉 150×125×80

カラーバリエーション



「本の保護」を目的とした商品を考案

テーマ

” ONE FUNCTION,
ONE GIMMICK”

デザインコンセプト

「大切な一冊をきれいなままで」

本の鞆の中に収納する際、本がリュックの中で移動していき、いつの間にか本のページに折り目がついたり、本自体が曲がってしまうことがあると思います。

本の折り曲げをなくすために今回本を保護するための箱として「Protectbook」を考案しました。

詳細



全体の技巧が多いので当初の設計図では設計図通りに組み立てようとしたところ、技巧が稼働しないことに気づきどうやったら設計図通りの技巧ができるか試行錯誤しました。最終的には稼働が可能なデザインに仕上げました。

本を入れないときは持ち運び安くしたほうが良いと考え、折り畳み式になるように蝶番を使用して設計し、商品の外観をできる限りこだわりたいと考え実際にある本の表紙を参考に見た目を楽しめるデザインなど力を入れました。



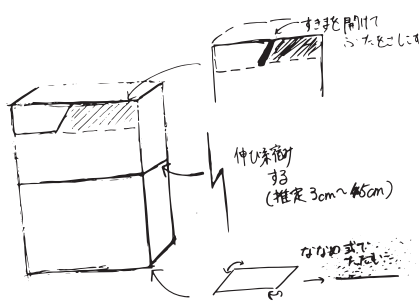
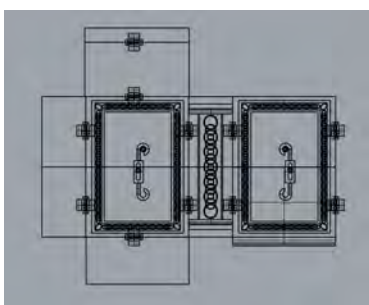
こだわり



本を保護することが今回の商品の目的であるため、なるべく本の形に合わせたフォルムにしています。

カラーリングは本なので古風な雰囲気にしたかったので少し暗めな色をメインに、縁取りなどは際立つように黄色や白を配色しました。

図案・スケッチ



最初のスケッチのデザインはシンプルなものにしようと考えていましたが、本を入れるだけではなく見た目も本に近いデザインなら面白いのではと思い洋書を参考にデザインしました。

その他

クロッキー

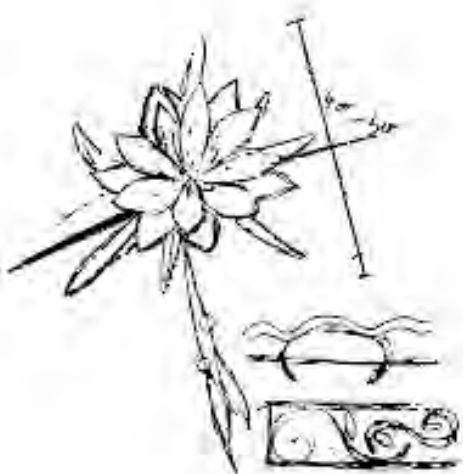


スケッチ



チロリ

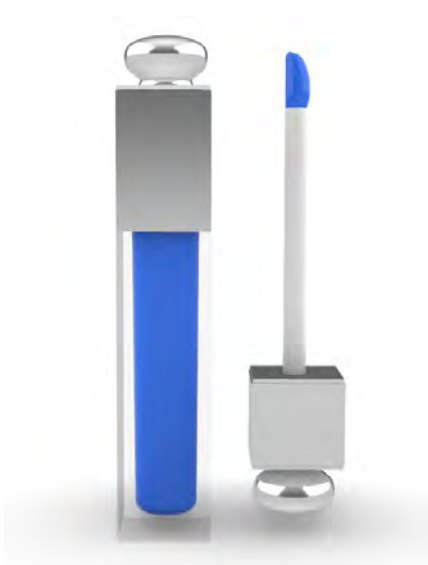
2



フュージョン 360



ライノセラス



Thank you for watching
